

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業			担当部局	文化庁	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	参事官(芸術文化担当) 企画調整課 文化経済・国際課	参事官(芸術文化担当) 圓入由美 企画調整課長 寺本恒昌 文化経済・国際課長 板倉寛	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	デフレ完全脱却のための総合経済対策～日本経済の新たなステージに向けて～(令和5年11月2日閣議決定)		
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費		
施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/hyouka/kekka/1420759_00004.htm						
事業の目的(5行程度以内)	世界に誇る我が国のマンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等において次代を担うクリエイター・アーティストを育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設の次世代型の機能強化を、独立行政法人日本芸術文化振興会に設置する基金を活用して弾力的かつ複数年度にわたって支援する。						
現状・課題(5行程度以内)	<p>・日本には1.2億人の市場があり、リスクを取って海外に打って出るインセンティブが生じにくい、人口減少の中、このままでは高い成長潜在力を持つコンテンツ市場の衰退の危機にある。</p> <p>・我が国の文化芸術の海外展開を視野に入れた若手クリエイターやアーティスト等の挑戦支援、育成体制を強化するとともに、国内活動拠点として博物館・美術館、劇場等の文化施設が新たな価値を付加できるよう機能強化し、若手クリエイター等を支える場として確立することが急務である。</p>						
事業概要(5行程度以内)	<p>○クリエイター・アーティスト等育成支援 世界に誇る我が国のマンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等をはじめとする次代を担うクリエイター等による作品や公演の企画・交渉・制作・発表・海外展開までの一体的な活動を、5年程度の活動目的の下で、3年程度弾力的かつ継続的に支援する。</p> <p>○文化施設による高付加価値機能強化支援 次代を担うクリエイター・アーティストの国内における活動・発信拠点となるべく文化施設における発信力の強化(デジタル・アーカイブ化含む)、新たな高い価値を文化芸術活動に付加する取組について、5年程度の活動目的の下で、3年程度弾力的かつ継続的に支援する。</p> <p>なお、当補助金は日本芸術文化振興会を補助し、基金を造成するものである。</p>						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	100%						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	6,000	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	6,000	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	6,000	-
		執行額(G)	-	-	-	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-
		令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)	
(項)							
(目)							
計(A)		-	-				

活動内容① (アクティビティ)	マンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等において次代を担うクリエイター・アーティストを育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設の次世代型の機能強化を弾力的かつ複数年度にわたって支援する基金の造成を補助する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	日本芸術文化振興会に基金を造成するために補助する	基金を造成するために補助した件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	1	-	
↓	<p>成果目標①-1の設定理由 (アウトプットからのつながり)</p> <p>本事業は、世界に誇る我が国のマンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等において次代を担うクリエイター・アーティストを育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設の次世代型の機能強化のため、独立行政法人日本芸術文化振興会に基金を設置し、弾力的かつ複数年度にわたって支援を行うことから、独立行政法人日本芸術文化振興会が助成事業を行うことを成果目標として設定した。</p>									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度		
	設置した基金により、日本芸術文化振興会が助成事業を実施する。	日本芸術文化振興会が支援した件数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	事業報告									
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
	<p>本事業は、世界に誇る我が国のマンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等において次代を担うクリエイター・アーティストを育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設の次世代型の機能強化を、独立行政法人日本芸術文化振興会に設置する基金を活用して弾力的かつ複数年度にわたって支援することを目的とした基金造成補助金であるため。</p>									

文化庁
6,000百万円

マンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等において次代を担うクリエイター・アーティストを育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設の次世代型の機能強化を弾力的かつ複数年度にわたって支援する基金

【補助金等交付】

A.(独)日本芸術文化振興会
6,000百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
補助金	基金造成	6,000					
計		6,000		計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本芸術文化振興会	7010005006877	基金の造成	6,000	補助金等交付	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック